



日 都 建 第 137 号  
平成 19 年 4 月 20 日

国土交通省道路局長 殿

大分県日出町長 工藤義典



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について（回答）

平成19年4月2日付、国道企第114号にて依頼のありました標記の件について下記のとおり回答いたします。

記

- 1) 重点化を進める上で特に優先度の高い政策
  - ・ 交通量の激しい地域での渋滞緩和（公共の政策に起因する事業に対するアクセス道路の整備）
  - ・ 災害時に備えての避難地への誘導道路
  - ・ 高速道へのアクセス道路
  - ・ 歩道等の交通安全対策
  - ・ 産業を支える道路の整備
  
- 2) 効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと
  - ・ 早い時期に住民のコンセンサスを得る
  - ・ 利用者、地権者の意見を調整して事業実施
  
- 3) その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関する意見
  - ・ 今後は建設費よりも、維持管理費に経費がかかります。よって、交付金以外の維持補修に対する直接補助制度の創設を望みます。
  - ・ 公共交通機関の未発達地域での道づくり  
（都市化が進む町村においては農道整備事業としての採択が難しくなり、道路整備の手法として国交省に頼はざるを得ない。高規格道路でない、現道拡幅などの生活に密着した道路整備が要求されています。  
採択要件の幅を、地方の実情に見合ったように引き下げてください）
  - ・ 設計基準にとらわれない現有道路施設（幅員5m前後の町道）を最大限利用した中で地域住民の理解と同意が得られる構造としての道路改築について補助制度の拡充を望みます。